

被害は乳幼児に多い！ 洗濯用パック型液体洗剤の事故に注意

フィルムで包まれたパック型液体洗剤が、近年販売されています。計量の必要がなく便利ですが、乳幼児が握ったりかんだりしてフィルムが破れ、洗剤が目や口に入る事故が、消費者庁に多数報告されています。

【事例1】

パック型液体洗剤を3歳の子どもが握ったら破裂し、洗剤が目の中に入った。急いで水で流し、治療を受けた。

【事例2】

洗濯機の横に置いてあったパック型液体洗剤を、4歳の子どもがかじってしまった。すぐに吐き出させて口をゆすいだが、口が痛いと言う。

パック型液体洗剤の特徴

●大きさ・形状

国内で販売される代表的な物は、水溶性のあるフィルムに包まれ、触ると軟らかいです。大きさは3～4cmの幅・厚みで、3歳児の片手では覆えないくらいあります。

●フィルムは水に溶けやすい

フィルムは簡単に破れない強度を持ちながら、わずか



な水で溶け出し、洗濯している間に溶け切る特殊な物です。国民生活センターのテストでは、乳幼児が口に入れて唾液が付着してかんだ場合、破れて中身が出てしまうことが分かりました。

またパック型液体洗剤をぬれたまま保管してしまうと、洗剤同士が付いてしまい、剥がそうとすると破れて中身が跳ね出ることがあります。

消費者が気をつけること

- 子どもの手の届く所に置かない。
- 使用後は保管用の箱などに入れ、ふたをしっかりと閉めて決まった置き場にすぐ戻す。
- パック型液体洗剤をぬらさないよう注意する。
- 目や口に入った場合の対処方法を商品にある表示で確認しておく。またその場合は必ず受診する。
- そのほかの取り扱いについても表示をよく読み、使用上の注意を守る。

岡崎市消費生活センター(☎63-7272)・相談直通電話(☎62-8019)